

活動報告書

●活動名：稲刈り

●活動のめあて（目的、目標）：

手作業による稲刈りという、日常では体験できない経験を通し、農作業について学ぶ

●日 時：平成27年10月13日（火） 9：00～10：15

●天 気：晴

●場 所：学校田


●当日参加者・協力者

参加者内訳	技術指導	人数
県職員		2名
小学校教諭		3名
児童		23名
地元農家（田んぼ・畑の学校の先生）	○	1名
田んぼ・畑の学校応援団		名


●当日の活動場所見取り図



●事前準備

前日までの準備	
実施したこと・準備したもの	参考画像
<ul style="list-style-type: none"> ・ はせ掛け ・ 鎌 ・ 稲藁 ・ マスコミへ投げ込み 	
当日の準備	
実施したこと・準備したもの	参考画像
<p>(事前打合)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農薬の使用は除草剤（1回）のみである。 ・ 稲束は「はせ掛け」とする。 ・ 田んぼの深さ50cm位にビニールが敷かれてあるため、水の管理は容易である。 	

●準備物一覧

準備物	参考画像
<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校 稲刈り鎌 稲藁 はせ（横木） はせ（柱） 	

●当日の活動内容

時間	活動内容・作業や指導のコツ等	参考画像
9:00	<p>(飯野小学校長あいさつ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 稲を収穫するには「田んぼ」の水管理が大切であるが、この管理を「田んぼの学校」長が全て行った。 ・ けがをしないように鎌を使って稲刈りを行ってください。 <p>(「田んぼ学校」長あいさつ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 稲を刈る人、稲を束ねる人、稲をはせに掛ける人に分かれて作業してください。 ・ 落ち穂拾いを行ってください。 <p>(児童の感想)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 稲は刈り取った茎をそろえて束ねる必要があることがわかった。 ・ 稲刈りは楽しかった。 	    

●活動の成果・効果

活動の成果	米の収穫は例年以上が見込まれた。多くの児童にとって、稲刈り体験は一生に一回のもので貴重な経験となった。
児童の感想	落ち穂拾いにより、食べものの大切さを知った。
小学校の感想	稲刈り体験を通して、世の中に役に立つ人になることを期待する。
地元農家の感想	刈り取った稲を <u>はせ</u> に掛けて収穫するのは希であり、昔ながらの体験ができた。 (「田んぼの学校」長)